

平成24年度

組織・人員配置等
事業概要

三重県水産研究所

平成24年度 水産研究所組織体制と事務分掌

水産研究所
現在員 41名

所長 紀平正人

研究管理監 山田浩且

企 画 調 整 課 11名

副参事兼課長	加藤邦彦
主幹	鈴木昌博
主査	奥村宏征
主事	中道洋文
技師	泊ゆかり
主幹兼船長	松尾剛平
機関長	岡本楠清
主任技術員	柴原浅行
主任技術員	谷水宗美
技術員	中村明菜
技術員	田畑直也

- 1 職員の身分及び服務に関すること
- 2 予算、庶務経理及び決算に関すること
- 3 財産の管理に関すること
- 4 調査研究に係る企画連絡調整に関すること
- 5 調査船の運航及び維持管理に関すること
- 6 ISOの認証に関すること
- 7 その他のグループに所管しないこと

水産資源育成研究課 8名

主幹研究員兼課長	松田浩一
主幹研究員	青木秀夫
主幹研究員	井上美佐
主幹研究員	田中真二
主任研究員	竹内泰介
研究員	遅美貴史
研究員	阿部文彦
主任技術員	大田幹司

- 1 種苗生産技術の開発に係る試験研究に関すること
- 2 新品種作出、育種技術に係る試験研究に関すること
- 3 魚類防疫対策に係る試験研究並びに指導に関すること
- 4 資源管理型魚類(定着性資源)に係る調査研究に関すること
- 5 水産物の付加価値向上、有効活用に係る調査研究に関すること

資源開発管理研究課 4名

総括研究員兼課長	津本欣吾
主任研究員	岡田 誠
研究員	丸山拓也
研究員	中瀬 優

- 1 漁海況予報に係る調査研究に関すること
- 2 資源管理型漁業(TAC対象種)に係る調査研究に関すること
- 3 資源管理型漁業(国際魚類資源)に係る調査研究に関すること
- 4 資源増大技術開発に係る調査研究に関すること
- 5 沿岸漁場整備開発事業に係る調査研究に関すること

水 圏 環 境 研 究 課 5名

総括研究員兼課長	山田浩且
主任研究員	館 洋
主任研究員	中西尚文
主任研究員	畑 直垂
主任技術員	西川次寿

- 1 環境・生態系の保全・修復に係る調査研究に関すること
- 2 内湾漁場環境の調査研究に関すること
- 3 有害赤潮(ヘテロカプサ等)の調査研究に関すること
- 4 有害プランクトン(貝毒)の調査研究に関すること
- 5 閉鎖性海域環境研究センターに関すること

鈴 鹿 水 産 研 究 室 6名

主幹研究員兼室長	藤原正嗣
主幹研究員	水野知巴
主任研究員	国分秀樹
主任研究員	羽生和弘
研究員	岩出将英
主任技術員	小河義秀

- 1 貝類の増殖に係る調査研究に関すること
- 2 黒ノリ養殖に係る試験研究に関すること
- 3 魚類の持続的生産に係る調査研究に関すること
- 4 浅海域の生態系保全に係る調査研究に関すること
- 5 河川の生態系保全に係る調査研究に関すること

尾 鷲 水 産 研 究 室 6名

主幹研究員兼室長	土橋靖史
主任研究員	宮本敦史
主任研究員	辻 将治
研究員	中村 砂帆子
技術員	西川 俊
技術員	久保 典敬

- 1 海面養殖に係る試験研究に関すること
- 2 魚類の防疫対策に係る調査研究に関すること
- 3 魚類の種苗生産技術開発研究に関すること
- 4 魚類養殖場の環境保全に係る調査研究に関すること

事 業 概 要

事業名	予算額 (千円)	事業概要
1. 水産研究所予算		
31104 水産技術の研究開発と移転		
(1) 資源管理・増殖や養殖など漁業生産技術の向上		
① マダイ養殖コスト削減試験	2,121	マダイ養殖では、魚粉価格の高騰や魚病の発生などにより生産コストが上昇している。魚粉代替原料の適正な利用方法を確立するとともに、飼育設備の改善による魚病の発生予防を実証する。【県単】
② 新しい真珠養殖実証化事業費	2,244	アコヤガイのピース貝の改良と効率的な維持に関する技術開発を実施する。【みえの真珠養殖再生支援協議会委託】
③ スーパーアコヤ貝の品質特性の把握と挿核貝の陸上低塩分養生技術の効率化	15,100	病気に強く、高品質な真珠が生産できるスーパーアコヤ貝や、施術後の養生技術（低塩分飼育など）などの養殖技術を養殖業者に活用しやすいものに改良し普及させる。【農林水産省委託】
④ 三重県において開発した高水温耐性品種の培養による高水温耐性に関する特性評価	1,200	DNA情報を活用して高水温耐性を有する黒ノリの養殖新品種を作出するための技術開発と、作出した品種の養殖特性の評価を行う。【水産総合研究センター委託】
⑤ イセエビ種苗生産の安定性向上に関する研究	2,134	イセエビ幼生の飼育システムの改良、新しい疾病防止技術の導入によって幼生飼育の安定性の向上を目指す。【県単】
⑥ アワビ資源回復のための稚貝生育適地調査事業	1,128	放流直後のアワビ種苗の動態を明らかにするための新しい技術としてアバロン・タグの有効的な活用法を開発するとともに、その技術を用いて種苗の生残率を高めるための条件を解明し、アワビ種苗の放流効果の向上を目指す。【県単】
⑦ 栽培漁業技術総合開発研究事業	681	トラフグ、クルマエビを対象に生態的知見を収集するとともに、放流後の追跡調査や放流適地の探索を行い、栽培漁業技術の総合的な向上を図る。【県単】
⑧ 資源評価調査事業	16,130	漁獲統計資料の解析、生物測定調査や調査船調査の結果に基づき、イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・スルメイカ・トラフグ等の資源量の評価を行い、漁獲可能量（漁獲割当量）を算出するための基礎資料を収集する。【水研センター委託】
⑨ 日本周辺高度回遊性魚類資源調査事業	1,495	マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもとに、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。【水研センター委託】
⑩ アサリ資源回復促進技術開発事業	1,000	殻長制限を変更した場合のアサリ資源量に及ぼす影響を調査するとともに、海底耕耘などの漁場環境改善によるアサリ稚貝の着底効果を調査する。【県単】
⑪ 漁場生産力の有効活用によるアサリ母貝場造成および新規創出技術開発	896	アサリの生産量が多い漁場と少ない漁場においてアサリの飼育実験と環境モニタリングを実施し、アサリの成熟・産卵に適した環境条件を明らかにする。【水産総合研究センター委託】
⑫ アサリ資源回復モデルの開発と実証	1,038	波浪による減耗が大きいと考えられる伊勢湾を対象に、アサリの生活史を考慮した資源回復モデルを開発し、これを軸に、これまでに水産基盤調査で積み重ねてきた各種要素技術を現地で展開し、低迷するアサリ漁獲量の資源回復を実現し、成功事例をつくる。また、湾スケールでのアサリ資源回復に向けたマスタープランの提示を目指す【水産庁委託】
⑬ アサリ未利用稚貝の有効活用技術開発	800	全国的なアサリ資源の減少により、アサリ種苗の入手が困難となり、放流用種苗が不足していることから、伊勢湾沿岸で天然に発生する未利用の稚貝を活用するための技術開発を実施する。
⑭ 遺伝子標識を用いた効果判定による放流技術の最適化（クルマエビ・ヨシエビ）	1,133	栽培漁業技術の最適化によってクルマエビ類（クルマエビ・ヨシエビ）の漁獲量増加を達成するため、早期種苗生産技術の開発、放流技術の最適化、開発した栽培技術の実証と普及等の課題について技術開発と実証試験を行う。【農林水産省委託】
(2) 水域の環境改善と安定した漁業生産への支援		
① 英虞湾漁場環境調査	2,076	英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を把握する。【県単、一部はその他】
② 熊野灘沿岸域における有害プランクトン優占化機構に関する研究	962	熊野灘沿岸域における有害プランクトンの長期的な変遷と発生環境を把握すると共に、有害赤潮のシード供給メカニズムを解明し、有害赤潮による漁業被害の防止に資する。【水産庁委託】
③ 生物多様性・カーボンオフセットプログラム構築に向けた干潟・藻場再生効果の評価	1,850	干潟や藻場の再生等に企業が参加・支援しやすくするためのカーボンオフセット制度の導入に向けて、干潟やアマモ場のもつ水質浄化機能やCO ₂ 固定量を定量評価する。【県単】
④ 英虞湾の環境再生へ向けた住民参加型の干潟再生体制の構築（実装支援事業）	3,250	英虞湾内の沿岸休耕地をモデル実装地として、地域住民と連携した干潟再生活動を実施することで、効果的な干潟再生技術を実証レベルで確立するとともに、住民参加による干潟再生活動の継続を図る。【JST委託】
⑤ 伊雑の浦環境改善技術効果把握調査	2,000	漁場環境が悪化している伊雑の浦において実施される各種の環境修復の取り組みに関して、その効果を調査し評価する。
⑥ アユの減少要因の解明に関する研究	887	放流後のアユの減耗状況を定量的に評価し、減少要因を究明するとともに、その軽減策を検討する。【県単】

事 業 概 要

事業名	予算額	事業概要																																			
(3) 低未利用資源を含む水産物の付加価値向上																																					
① 三重県の漁村に伝わる水産塩蔵品の発掘と品質向上に関する研究	500	漁業者の高齢化とともに失われつつある漁村に古くから伝わる塩辛（しょっから）に代表される水産塩蔵品を守り伝え、地域が利用可能な食品資源としての活用を促進することを目的に、水産塩蔵品の掘り起しとリスト化、品質と安全性の向上のための加工過程の改善および「売れる商品」への展開に向けた技術提案を行う。【岡三加藤文化振興財団助成】																																			
(4) 緊急雇用創出関係																																					
① 津波・台風等による魚病発生状況疫学調査	3,500	三重県沿岸で営まれている魚類養殖での魚病の発生状況を調査・分析し、予防策を漁業者に提案する。																																			
② 養殖および放流水産物の安全・安心調査緊急雇用創出事業	2,724	近年、養殖及び放流種苗に新しい疾病や食中毒原因寄生虫等が出現しているため、県内で生産される水産物の安全・安心を確保するための調査を実施する。																																			
(5) 研究管理、施設整備など																																					
【調査船】																																					
(1) 水産業試験研究管理費																																					
① 熊野灘沖合地殻変動調査事業	10,000																																				
② 管理費	41,008																																				
③ 水産業研究施設機器整備費	98																																				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>船名</th> <th>船質</th> <th>トン数</th> <th>馬力数</th> <th>進水年月</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>あさま</td> <td>軽合金</td> <td style="text-align: center;">79.0</td> <td style="text-align: center;">D 400</td> <td style="text-align: center;">H14. 3</td> <td style="text-align: center;">調査研究</td> </tr> <tr> <td></td> <td>小大勢</td> <td>F. R. P</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">D 42</td> <td style="text-align: center;">H 4. 8</td> <td style="text-align: center;">調査研究</td> </tr> <tr> <td></td> <td>まつかぜ</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">外 30</td> <td style="text-align: center;">H11. 3</td> <td style="text-align: center;">養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td></td> <td>灘 風</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">D 35</td> <td style="text-align: center;">H14. 3</td> <td style="text-align: center;">湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table>	項目	船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途		あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究		小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	調査研究		まつかぜ	"	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測		灘 風	"	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業
項目	船名	船質	トン数	馬力数	進水年月	用途																															
	あさま	軽合金	79.0	D 400	H14. 3	調査研究																															
	小大勢	F. R. P	1.1	D 42	H 4. 8	調査研究																															
	まつかぜ	"	1.3	外 30	H11. 3	養殖作業 湾内観測																															
	灘 風	"	1.5	D 35	H14. 3	湾内観測 養殖作業																															
2. 水産資源課、水産基盤整備課予算																																					
31402 高い付加価値を生み出す水産業の確立																																					
(1) 消費者に安心される養殖水産物の生産体制整備事業(水産資源課 執行委任)																																					
① 養殖衛生管理体制整備事業	358	飼育管理技術の改善と水産用医薬品の適正利用を指導し、養殖衛生管理体制の整備を図る。																																			
② 貝毒成分モニタリング事業	90	貝毒による食中毒を防止するため、貝毒プランクトン出現動態と二枚貝毒化に関する知見の収集と蓄積を図る。																																			
(2) 東紀州地域の水産業活性化総合対策事業(水産資源課 執行委任)																																					
② マハタの産地間競争力向上事業	3,780	マハタ養殖を東紀州地域に定着させるため、種苗の品質向上と、養殖マハタの身質向上のための技術開発を行う。【県単】																																			
(3) 持続的な水産物供給体制構築事業(水産資源課 執行委任)																																					
① 生産者による自主管理型の貝毒モニタリング体制の構築	2,180	生産者への普及に適した簡易なプランクトン採集法の導入と、それを利用した二枚貝の毒化予測手法の確立に取り組む。また、コスト面や労力面で問題となっているマウス試験の負担を軽減するための貝毒簡易測定法の実用化に取り組む。そして、これらの新しいモニタリング技術の活用と生産者との連携による効率的な自主管理型貝毒監視体制の構築を目指す。																																			
② 里海を創出する環境対応型黒ノリ養殖技術開発	1,876	環境変化に対応する新しい品種や高品質化技術の開発を行うとともに、得られた成果を生産者との連携によって普及させる。																																			
③ アオノリ養殖技術の高度化	415	採苗技術の改良や生産物の高品質化のための新しい養殖技術の開発を実施し、アオノリの養殖の導入と安定化を目指す。																																			
④ 人工採苗によるヒジキ養殖技術の開発	384	採苗技術の改良や生産物の高品質化のための新しい養殖技術の開発を実施し、ヒジキの養殖の導入と安定化を目指す。																																			
(4) 産学官連携「みえのリーディング水産商品等」開発事業(水産資源課 執行委任)																																					
1) 水産物フードイノベーション推進事業「選択・集中プログラム」																																					
① ハーブ等養殖魚を全国販売するブランド商品化モデル構築事業 (ハーブ等養殖技術向上研究事業)	3,800	養殖マダイに海藻類、柑橘類、茶葉およびハーブ等を添加した飼料を給餌して飼育し、飼育成績や身質を分析し、鮮度保持効果や身質向上効果など、その付加価値向上効果を把握する。																																			
② 三重アサリを高品質化し全国販売するブランド商品化モデル構築事業 (母貝漁場再生産モデル構築事業)	681	アサリ母貝の生物資源再生産サイクルを構築するため、禁漁区にした母貝アサリ漁場モデルづくりを構築する。また、アサリ浮遊幼生の着底状況の実態解明研究とその後のアサリ育成状況の資源増殖管理を構築する。																																			
(冷凍アサリ保存技術研究開発事業)	200	春～初夏のアサリが最もおいしい時期にアサリを急速冷凍し、季節外でも周年販売できる生産販売体制を構築するため、アサリの品質を低下させずに長期間冷凍保存できる、より効果的な凍結保存技術を開発する。																																			
2) 水産技術クラスター構築による水産物高付加価値化促進事業「選択・集中プログラム」																																					
	4,100	漁業、水産業の収益性向上のために、産学官で水産技術クラスターを構築し、連携して水産業に関係する新しい技術の導入や水産資源の有効活用、付加価値向上に向けた取り組みを行う。																																			
(5) 資源管理体制・機能強化総合対策事業【三重県資源管理協議会委託】																																					
① 小底資源管理推進調査費	751	H14年の資源回復計画の開始以来、全長25cm以下の小型マアナゴの再放流による漁獲量の回復と資源の効率的利用が取り組まれている。その取り組みを推進・支援するため、現場で使用可能な選別器の開発を行う。																																			
② イカナゴ資源管理推進費	1,152	イカナゴの資源管理に資する調査に取り組む。																																			

事 業 概 要

事業名	予算額	事業概要
③ 資源管理に必要な情報提供事業	1,685	三重県沿岸の漁海況に関する調査を行うと共に、漁海況情報を関係機関に提供し、資源管理の推進を図る。
31403 自然と共生する生産性の高い水産業・漁村の構築（水産基盤整備課 執行委任）		
① 熊野灘浮漁礁技術活用モデル事業	3,000	浮漁礁設置海域周辺の流動環境、魚群の集積状況等を調査し、浮漁礁の効果的な運用・活用方法を検討するための基礎資料を得る。
② 水域環境保全創造事業 （ヒジキ人口藻礁の設置に関する研究）	5,000	ヒジキ藻礁の設置によるヒジキの資源増大を図る。
（アマモ場再生効果調査）	2,000	アマモ場の再生効果に関する調査を行う。
（藻礁整備事業）	2,000	海藻の生育に適した藻礁の基質や藻場における水産資源増殖のための調査を実施する。